

【メディア掲載】「会いに行く」という哲学」—経済界（雑誌・Web）に掲載されました

# 経済界掲載 配食は“社会インフラ”へ



掲載媒体：2026年5月号（誌面） 62ページ

このたび、当社の取り組みが経済界2026年5月号およびウェブに掲載されました。

本記事では、物価高や高齢化が進む社会において、当社が大切にしている「会いに行く」という考え方や、配食サービスを通じた社会的役割についてご紹介いただいております。

当社は、全国約350店舗・月間約326万食の提供を通じて、高齢者の生活を支える存在として事業を展開しています。日々の配達は単なる食事提供にとどまらず、ご利用者様との接点を生み出し、見守りや安心につながる重要な役割を担っています。

また、原材料費や物流費の高騰が続く中においても、当社は安易な値上げに頼らず、価格と栄養を守ることを重視しています。

特に、1食あたり20g以上のたんぱく質を摂取できる「幸たんぱく食」を通じて、高齢者の低栄養予防や健康寿命の延伸に取り組んでいます。さらに、自治体や医療機関との連携、大学との共同研究などを通じて、配食サービスを「予防の入り口」とする新たな取り組みも進めています。

当社はこれからも、「会いに行く」という姿勢を大切にしながら、地域に寄り添い、社会を支える存在であり続けます。ぜひご覧ください。

## ■掲載情報

- ・掲載媒体：経済界
- ・掲載媒体：2026年5月号（誌面）／経済界ウェブ
- ・掲載日：2026年3月24日（Web）

▼記事を見る



▼公式ホームページ

